

新規評価箇所検討一覧表（整備系）

様式 2  
担当課 まちづくり推進課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	予算化等状況	総事業費 (百万円)	完成 予定 年度	備考
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置 づけ	必要 性・ 効果	実 施 環 境					
1	街路	生活関連	街路整備交付金事業（防 災・安全社会資本整備交付 金）	城内線 (3工区)	佐賀市		本庄町	街路整備 L=300m W=16.0m	A	A	B		H26当初	1,250	H32	
2	街路	生活関連	街路整備交付金事業（防 災・安全社会資本整備交付 金）	小城駅千葉公園線 (3工区)	小城市		小城町	街路整備 L=220m W=17.0m	A	B	A		H26当初	1,305	H32	

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部署名	県土づくり本部	記入	まちづくり推進課	課長	杉野 朗
		責任者	佐賀土木事務所	所長	原 澄男

事業区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費	1,250百万円
		街路整備交付金事業 (防災・安全社会資本 整備交付金)	都市計画道路 城内線(3工区)		
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
佐賀市本庄町本庄地内			平成26年度	平成32年度	
事業目的			事業内容		
<p>当該路線は、佐賀市中心市街地と佐賀市南西部を結ぶ路線であるが、当該区間は現道の幅員が狭く、歩道がないことから、佐賀市中心部へ向かう自動車交通と沿線の佐賀大学へ通学する歩行者・自転車が輻輳し、危険な状態となっている。</p> <p>このため、当該区間の整備により、歩行者・自転車の交通安全確保を図るとともに、中心市街地の交通の円滑化を図る。</p>			<p>事業延長 L = 300m</p> <p>道路規格 第4種第2級</p> <p>道路幅員 W = 6.0(16.0)m</p> <p>歩道幅員 W = 3.5m × 2</p> <p>用地買収 A = 2,200㎡</p> <p>家屋補償 n = 12戸</p>		
評価の視点	評価内容				評価
(1)位置づけ	県土づくり本部戦略(生活に身近な道路の整備) (10点)				A (80点)
	・都市計画マスタープラン(県の都市計画マスタープランに位置付けられている:(都)城内線) (50点)				
	・都市計画道路の種類(幹線街路) (10点)				
	・地域の課題への貢献度(医療保健・福祉・教育施設等の公益施設に関連する道路) (10点)				
(2)必要性・効果	・費用対効果(B/C) (1.36)[1.0以上2.0未満] (30点)				A (80点)
	・歩行者・自転車等の交通量 (2,748台/12h) 〔歩行者500人/日以上または自転車500台/日以上〕 (10点)				
	・歩行者・自転車道の設置状況(設置されていない) (10点)				
	・幅広歩道自転車道の整備(3m以上~6m未満で整備する) (10点)				
	・電線類地中化等計画(地下埋設物(電線類)計画あり) (20点)				
(3)実施環境	・県民・市民との協働(要望に配慮した事業) (20点)				B (60点)
	・まちづくりへの取り組み状況 (まちづくりのイメージが策定されている) (20点)				
	・地元関係者等の合意形成状況 (事業化に対する認識が高い) (20点)				

評価	AAB	条件等
判断	優先的に事業を実施	

# 定性評価調書

## 自然環境保全

内 容

動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

## 生活環境対策

内 容
大気汚染について配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用) バリアフリーに配慮している事項(透水性歩道舗装の採用、点字ブロックの設置、スロープ状(0cm～2cm)縁石の設置)

大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

## コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用 コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

## その他

内 容

特に記述することがあれば記載。

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部 名	県土づくり本部	記 入	まちづくり推進課	課 長	杉野 朗
		責任者	佐賀土木事務所	所 長	原 澄男

事業 区 分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費	1,305百万円
		街路整備交付金事業 (防災・安全社会資本 整備交付金)	都市計画道路 小城駅千葉公園線 (3工区)		
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
小城市小城町新小路～同市同町東小路地内			平成26年度	平成32年度	
事業目的			事業内容		
<p>本路線は、JR小城駅から小城町中心市街地を経て国道203号に至る南北方向の幹線街路である。現道両側には商店街が連なる他、付近には小学校・高校や市民図書館、小城公園が立地しているが歩道が未整備で、車両と通勤通学や沿道利用のための歩行者・自転車が錯綜し、危険な状態である。当該区間の整備をもって、歩行者・自転車の交通安全を確保するとともに、地元によるファサート整備と併せ中心市街地の再生を図る。</p>			事業延長	L = 220m	
			道路規格	第4種第2級	
			道路幅員	W = 6.0(17.0)m	
			歩道幅員	W = 4.0m × 2	
			用地買収	A = 2,000㎡	
			家屋補償	n = 25戸	
評価の視点	評価内容				評価
(1)位置づけ	県土づくり本部戦略(生活に身近な道路の整備) (10点)				A (80点)
	・都市計画マスタープラン(県の都市計画マスタープランに位置付けられている:(主)小城牛津線) (50点)				
	・都市計画道路の種類(幹線街路) (10点)				
	・地域の課題への貢献度(中心市街地活性化に貢献できる道路) (10点)				
(2)必要性・効果	・費用対効果(B/C) (1.33)[1.0以上2.0未満] (30点)				B (70点)
	・歩行者・自転車等の交通量 (237台/12h) [歩行者500人/日未満または自転車500台/日未満] (0点)				
	・歩行者・自転車道の設置状況(設置されていない) (10点)				
	・幅広歩道自転車道の整備(3m以上~6m未満で整備する) (10点)				
	・電線類地中化等計画(地下埋設物(電線類)計画あり) (20点)				
(3)実施環境	・県民・市民との協働(提案型の事業) (30点)				A (90点)
	・まちづくりへの取り組み状況 (建築協定締結済) (40点)				
	・地元関係者等の合意形成状況 (事業化に対する認識が高い) (20点)				

評価	AAB	条件等
判断	優先的に事業を実施	

# 定性評価調書

## 自然環境保全

内 容

動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

## 生活環境対策

内 容
大気汚染について配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用) バリアフリーに配慮している事項(透水性歩道舗装の採用、点字ブロックの設置、スロープ状(0cm～2cm)縁石の設置)

大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

## コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用 コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

## その他

内 容

特に記述することがあれば記載。